

MRI出力抑制評価レポートのご紹介

- 事業期間が長期に亘る再生可能エネルギー発電事業のファイナンスを組むには、出力抑制評価のレポート取得が不可欠となっています。
- 当社は、これまでのノウハウを活かして独自に開発したMRI出力抑制評価モデルを用いて分析を行い、発電事業者様のファイナンス構築を支援します。

MRI レポートの 強み

①豊富な調査経験の活用

電力需給の将来推計や再生可能エネルギー政策等に関する豊富な官公庁業務経験をベースに、信頼性の高い将来シナリオを策定します。

②現行ルールを忠実に再現したモデルの活用

1時間単位の需給バランス・変動対応力を確保したモデルを活用。輪番制を模擬した抑制量配分、連系線活用可能量の推定など、最新の知見を反映。

MRI レポートの 概要

■分析対象エリア

沖縄を除く全国(北海道・東北・東京・北陸・中部・関西・中国・四国・九州)9エリアにて多数の評価実績あり。

■分析対象電源

太陽光(30日・360時間・無制限)、風力(720時間・無制限)、バイオマス(一般・地域資源)それぞれの評価が可能。

■レポート構成

分析モデルの考え方、電力需要・火力・原子力・水力・再エネ(水力以外)・連系線活用のシナリオ設定、分析シナリオの選定、出力抑制評価結果で40ページ程度。

トラック レコード

■評価件数

200案件以上(2016年6月サービス開始)

■顧客

再エネ発電事業者、金融機関

MRI レポートの お見積

■お見積作成条件

分析対象とするエリア数・対象電源数・設定シナリオ数によりお見積が変動します。ご発注頂いてから最終レポート納品までに要する期間は通常2ヶ月程度ですが、お急ぎの場合にはご相談に応じております。

■お問い合わせ先

(株)三菱総合研究所 エネルギー・サステナビリティ事業本部 GXグループ
池田、中塚までお気軽にお問い合わせ下さい。

電話:03-6858-3493 メール:service@mri.co.jp